

100101映画製作・配給業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	10	16 ～ 18	被災者を含む9名で山（標高約1700m）に登り、山中で撮影を行った。その後、被災者を含む4名の班で下山をしていた際に、標高1150m付近の登山道で被災者が斜面に転落し、行方不明となった。被災者は翌日に、登山道から約100m滑落した位置で発見されたが、死亡が確認された。	711	1	100 ～ 299
2021	10	12 ～ 14	被災者は本件事業場の建屋内において、委託業者による清掃作業の立ち合いを行っていた。当該業者による清掃作業が終わり、業者が帰り被災者一人となった。その後被災者が家に帰らないと家族から会社に連絡があり、事業場担当者が事業場を訪れたところ、被災者が建物内部の玄関付近で倒れているところを発見したもの。	413	1	50 ～ 99
2021	10	20 ～ 22	自動車出張先から会社へ移動していたところ、何らかの理由によって車体が振られ、道路左側のガードレールおよび防音壁に衝突した。その際に後部座席に乗っていた被災者が車外へ投げ出され、横転した車体の下敷きとなり、病院へ救急搬送されたが死亡したもの。（なお、当該自動車には被災者を含め4名が同乗していたが、被災者以外の者についてはいずれも軽傷とのことであった。）	231	17	50 ～ 99
2020	6	10 ～ 12	被災者が、磯（高さ5m程度）にて、釣り番組の取材のため釣り人がイシダイを釣り上げている状態を撮影し、撮影場所を変更するため移動していたところ、バランスを崩し墜落した。	711	1	1～ 9





2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99

2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	512	16	50 ～ 99

2017	1	14 ～ 15	被災者が仮眠場所として借り受けていたマンションの一室を被災者の父親が確認したところ、被災者が死亡していた。警察による検死の結果、脳出血による死亡と確認された。	921	90	～ 299
2016	5	7 ～ 8	撮影作業（前日）を終え、翌朝、宿泊先のホテルから関係者4名がワゴン車に乗り合わせ戻る途中、自動車道上り線（3車線の中央車線）にて、故障により停止中のダンプトラックに追突し、後部座席に乗っていた被災者が死亡した。	231	17	30 ～ 49
2012	10	17 ～ 18	被災者はサーキット内のロケハンを行っていた最中にピットの上部にある2階テラス（高さ約6m）から墜落し、頭部を強打し死亡した。	418	1	1～ 9
2011	12	4 ～ 5	被災者の運転するトラック（4t）が、追い越し車線から走行車線に車線変更した際、走行車線側のガードレールに接触、その後前方の車両に追突したため、その場に停車。携帯電話で事故の報告をした後、トラックを路肩に移動しようと乗り込んだ直後、後方から走ってきた車両がトラックに追突し、被災者はフロントガラスに頭を強打し、即死したもの。	221	17	1～ 9
2007	4	14 ～ 15	映画の宣伝・配給の業務をしていたが過度な仕事量と責任、労働時間であったため不眠などの症状がみられたので、業務量が軽減されたがその後、別会社へ出向したところ労働時間が増え、休日出勤も増えて強い心理的負荷を受けビルの屋上から飛び降りた。	911	90	10 ～ 29
2004	3	9 ～ 10	ヘリコプターに搭乗し、上空からカメラ取材していたところ、ヘリコプターが地面からの高さ150mの架空電路（77000V）の1本に接触し、機体の一部を損壊し、バランスを失って墜落した。	239	18	30 ～ 49
2002	10	15 ～ 16	放送局の取材班3人とパキスタン人の運転手の乗った車が、道路から100m下の川に転落し4人とも死亡した。	231	17	10 ～ 29
2002	10	15 ～ 16	放送局の取材班3人とパキスタン人の運転手の乗った車が、道路から100m下の川に転落し4人とも死亡した。	231	17	300 ～

2002	5	6 ～ 7	9名乗りワゴン車に7名が乗車してイベント会場に向けて自動車で走行中、道路左側のガードロープの支柱に激突して横転し、二列目座席に座っていた者が車から投げ出された。	231	17	1～ 9
2001	10	18 ～ 19	テレビ番組撮影のための舞台セットであるアーチ型トラス(高さ3m16cm、重さ約125kg)の転倒防止用ワイヤーのアーチ上部への取り付けで、まだ固定されていないトラスに昇降設備を使用しないでよじ登ったとき、アーチ型トラスがバランスを崩して転倒し下敷きになった。	418	1	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.html)に戻る。